

富山県高P連会報

第 124 号
2021.2

編集発行
富山県高等学校PTA連合会
発行人 会長 堀井 鉄也
富山市千歳町1-5-1
富山県教育記念館41号
TEL 076(432)2810
FAX 076(432)1501

令和2年度を振り返って

今年度、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学校は入学式翌日より2週間の臨時休校となったが、その後も感染者が県内で増え続けている状況を踏まえ、さらに5月末まで臨時休校期間が延長された。しかしながら5月14日に、8都道府県を除いて国の緊急事態宣言が解除されたことにより、段階的な緩和措置がとられ、子どもたちの学びを保障していくため、徹底した感染症対策を行いながら、6月1日から教育活動を再開することとなった。長期の臨時休校というこれまで経験したことのない状況により、学校は、ICTを活用した授業方法の改善や学校行事の見直しなどが求められることとなった。

一方、PTA活動においても、PTA役員会や総会が今までと同じように開催することができず、各学校では書面審議の方法をとるなど工夫していた。県高P連でも、6月開催の定期総会を書面審議とし、各地区で開催している地区指導者研修会や予定されていた会議を中止せざるを得なかった。

また、7月開催予定であった福井市での北信越地区高等学校PTA連合会研究大会が中止、8月開催予定の全国高等学校PTA連合会大会島根大会も中止となった。北信越大会での発表準備をしていた4校のPTAではその機会が失われ、北信越各県や全国各地のPTA会員との研修や交流を楽しむことが出来なかった。さらに、10月に開催予定の県高P連大会・指導者研修会も誌上発表のみとなった。誌上発表していた富山商業高校、高岡南高校、石動高校、にかわ総合支援学校の各PTA会長さんには、この紙面を借りて感謝申し上げるとともに、各校におかれては配付した研究発表資料を今後のPTA活動に役立てて

いただければありがたい。

さて、全国高P連調査広報委員会による「令和2年度教育活動・PTA活動アンケート」が、12月から1月にかけて実施された(2, 249件の回答、全国高P連のHPに掲載)。この中に、【高校生について、いま心配なこと】(複数選択)という項目がある。この回答として、「高校生のメンタル」「進路」「部活動・サークル活動」「社会とかかわり」などが心配なことの上位に挙げられている。コロナ禍により、友人と関わる時間や活動が制約されたことが「高校生のメンタル」や「社会とかかわり」に、休校による学習の遅れへの不安が「進路」に、インターハイや各種コンクールの中止などが「部活動・サークル活動」に反映されているように思われる。今後は、子どもたちがこれまで普通に行ってきた活動を保障していく術をPTAとして考え、企画・実践することで、成長を支えることが大切になっていくと考えている。

令和3年7月に富山県民会館で北信越地区高等学校PTA連合会研究大会の開催が予定されており、準備している。今後のコロナの影響が不透明なため、これまでの富山大会と比べると準備が遅れているが、北信越各県や会員の皆様のご意見を踏まえ、ご協力を仰ぎながら進めていきたい。

(高P連事務局 神田 聡)

令和3年度 事業予定

- 令和3年
 - 4月27日 令和2年度第4回理事会
 - 5月25日 第1回幹事会
 - 6月3日 高P連定期総会
 - 第1回企画委員会兼理事会
 - 北信越地区高P連研究大会富山大会
 - 第1回実行委員会
 - 6月7日 新川地区PTA指導者研修会
 - 6月16日 高岡地区PTA指導者研修会
 - 6月22日 砺波地区PTA指導者研修会
 - 6月24日 第1回教育向上委員会
 - 6月29日 北信越地区高P連研究大会富山大会
 - 第2回実行委員会
 - 6月30日 富山地区PTA指導者研修会
 - 7月3日 第49回富山県社会教育大会
 - 7月9・10日 北信越地区高P連研究大会富山大会
 - 7月27日 第2回企画委員会
 - 8月24・25日 全国高P連大会島根大会
 - 9月30日 第3回企画委員会
 - 10月12日 第2回理事会
 - 10月14日 第2回教育向上委員会
 - 10月26日 県高P大会・指導者研修会
 - 11月上旬 教育関係予算の県教委陳情
 - 12月9日 第4回企画委員会
- 令和4年
 - 1月上旬 教育関係予算の知事要望
 - 2月17日 第5回企画委員会
 - 第3回理事会

共学共育

泊高校PTA

「学校と連携したPTA活動」

本校は、今年度、創立80周年を迎えました。来年度末の閉校に伴い、地域のシンボルとしての役割を終え、歴史に幕を降ろします。

すなわち、PTA活動は今年度と来年度だけで、コロナ禍もあってあまり活動できていない状況です。本校PTAは、会長等のほか、各地区委員が所属する3委員会（環境・広報・進路）から構成されています。

環境委員会では、挨拶運動、学校保健委員会等の活動に参加。中でも挨拶運動は、「朝日町さわやか運動」と題し、町内の全小中高PTAが連携協力し、地域ぐるみで児童生徒の健全育成を図る一助となっています。

広報委員会は、学校と家庭を結ぶパイプ役として年2回（7・3月）、「PTAだより」（昨年、記念すべき第100号！）を発行しています。進路委員会では、保護者のための①進路説明会、②大学見学ツアー、生徒のための③職業人による進路講話会の企画・運営を行っています。

①は、5月のPTA総会時の研修の一環として始めました。子供の進路実現のために保護者自身も学び、一緒に考えることを目的に、進学と就職に分けて開催しています。



富山県立大学 卒業生との懇談

②は、本校から進学実績のある国立四大や短大を訪問するツアーです。保護者へのアンケート調査結果から、実施時期の変更、本校卒業生との懇談の追加などを経て、「百聞は一見に如かず」のツアーとして好評を博しています。

③は、当時のPTA会長が、高Pの発表大会で、保護者が講師になって進路指導のサポーター役を果たしている学校が数多くあることを知り提案したのがきっかけです。保護者が協力・連携し、生徒の職業観を育成できないか考えていたところ、校長先生から「職業人や企業人から、直接、話を伺う機会ほとんどない。本校でも是非！」との言葉を頂き、取り組むことになりました。



職業人による進路講話会

少子高齢化・人口減、グローバル化、情報化の進展などの中で、保護者が学校に頼りすぎず、わが子、高校生に対して「働く意義について教える」「将来の目標を持たせる」ことは、保護者の大きな役割であるはず。本校PTAが、学校と連携しながら行っているこのような進路指導への協力は、保護者が不安がることなく子供と正面から向き合い、子供の一歩の話し相手・相談相手になれる活動内容だと思えます。

残された時間はあまりありませんが、生徒・保護者が「泊高校でよかった。」と言ってもらえるようPTA一丸となって取り組んでいく決意を新たにしています。

泊高校PTA会長

大村 賢

高志支援学校PTA

「PTA活動の柔軟な取組」

本校は、肢体不自由のある児童生徒のための特別支援学校です。小学部、中学部、高等部があり、児童生徒は、隣接する富山県リハビリテーション病院・こども支援センターで治療や訓練を受けています。また、高等部こまどり分教室は、高岡市立こまどり支援学校に併置し、生徒は高岡市きずな子ども発達支援センターで訓練を受けています。

本校のPTAは、会長1名、副会長3名（各学部1名）、会計1名、監査1名、事務局1名、進路部、厚生部、広報部から構成されています。例年の活動として、進路部は、卒業後の進路を考え、情報交換を行うための施設研修を企画しています。厚生部は、子供たちが楽しめるように、皆でアイデアを出し合い、学習発表会のバザーやゲームなどの企画・運営を行っています。広報部はPTA新聞「コシコシタイムズ」の編集を行い、3月に発行しています。また、奉仕活動としての校内窓ふき清掃や、保護者が子育てや進路に関する情報交換を行う交流会も実施しています。

今年度は、コロナ禍により、多くのPTA活動の縮小、中止を余儀なくされました。このような状況の中でも、私達、保護者は子供たちが安

全に安心して学校生活を送ることができるよう、柔軟な発想で活動を行っていくことが大切ではないかと考えました。



防護服製作

そこで新たに、子供たちを感染から守るために、透明なゴミ袋とガムテープを使用して児童生徒に接する教職員の皆さんが着用するための防護服を製作しました。多くの保護者の方に協力していただき、千枚以上も作りました。また、子供たちが楽しめる企画として、「クリスマスお楽しみプレゼント」と題し、くじ引きを行いました。子供たちの喜ぶ顔がたくさん見られました。

コロナ禍が早く収束することを願いますが、どんな状況であっても保護者と学校が連携を図り、子供たちの成長を支援していきたいと思っています。また、今後も保護者同士の情報交換や交流できる機会を工夫し、PTA活動を活性化していきたいと思っています。



クリスマスお楽しみプレゼント

高志支援学校PTA会長

堤 課七子

大門高校PTA

「本校のPTA活動について」

本校は、昭和61年に創設され県内では最も新しい普通科単独高校であり、開校から35年を迎えました。卒業生は6670名を数え、各方面で活躍が見られます。本校は情報化、国際化社会に対応する授業が多く行われており、2年次からは「情報コース」が設けられ、県内外の大学との連携授業が行われています。また国際交流も積極的に行い、平成9年にアメリカオレゴン州で開催された「高校生国際環境サミット」に参加して以来、高校生の国際会議に生徒を派遣し、令和元年にはトルコ共和国イスタンブールで開催された環境国際会議（CEI）に参加しています。

本校のPTAは、執行部と文化広報、生徒・生活指導、保健の3つの専門委員会からなっています。主な活動は、文化広報委員会はPTA広報誌「大文字草」を年2回発行しています。生徒・生活指導委員会は県のさわやか運動期間中に、生徒たちと一緒に校門にてあいさつ運動を行っています。保



「大文字草」編集作業

健委員会は外部講師を迎え、子供の成長や接し方に関する保健講話を毎年実施しています。また、全体行事としてPTA大学視察研修を実施しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、さわやか運動へのPTA役員参加は取りやめました。また、例年多くの参加があるPTA大学視察研修も、今年度は金沢大学の視察を予定していましたが中止となりました。ほとんどのPTA行事が中止となりましたが、緊急事態宣言解除後にはスクールカウンセラーを講師にお迎えし、保健委員会主催の「子供とのほどよい距離」と題する保健講話を実施することができました。コロナの影響もあり例年より参加者数は少なかつたものの、有意義な講話を聞くことができました。



保健講話

今年度は、各委員会での取り組みが縮小することとなってしまいました。引き続き活動を継続するとともに先生方と保護者が連携し、生徒たちにより良い環境を提供できるように取り組んで参りたいと思います。

大門高校PTA会長

横山 貴一

となみ野高校PTA

「子ども達のために一丸となって」

本校は、会長1名、各年次で副会長2〜3名、1年次から監査2名、その他年次役員でPTA活動を行っています。その中で総務・文化、厚生・生徒生活指導の委員会にわかれさまざまな活動をしています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でいろんな活動に制限がありました。ここでは、昨年度の活動を紹介していきます。

〈学校林下草刈り・植樹活動〉

毎年5月に生徒と保護者から希望者を募り、学校が所有する山へバスで移動し、高岡農林復興の職員からご指導を頂きながら、斜面に生えたクマ笹などの草を刈り、コナラやクヌギなどの苗木を植樹しました。保護者の皆さんからは「楽しかった。」「来年も参加したい。」「などの声も聞かれました。

〈あいさつ運動〉

厚生・生徒生活指導委員会が年2回行っています。校門や昇降口にわかれて立ち、係の生徒と一緒に登校する生徒たちに声をかけます。10月は『秋のさわやか運動』



あいさつ運動

と併せており、クラス毎に作成したのぼり旗を見るのも楽しみのひとつです。今年度はこれが唯一のPTA活動でした。

〈上級学校・企業見学会〉

9月に1、2年次を対象に実施されました。昨年度より、PTA会計から運営の補助金をだし、1、2年次の保護者も参加できるようにになりました。県内の企業や私立大学、専門学校などに親子で見学し、進路実現に向けて考える機会となりました。

〈キャンパスフェスティバル模擬店〉

11月に行われる学校祭でのPTAの模擬店では、総務・文化委員会がうどんとおにぎりを販売し、売上金はPTA会計に繰り入れました。普段ゆっくり話す機会のない親御さんや先生方と和気あいあいと楽しい時間を過ごせました。

また、「頑張る我が子への応援メッセージ」として、保護者の皆さんに手紙を書いてもらい、後日先生から受け取った生徒達は、照れながらも嬉しそうに読んでいたと聞いています。

となみ野高校では、生徒の個性をとても大切にしています。今後も生徒一人ひとりが充実した学校生活を送れるよう、学校と保護者、教職員が力を合わせ、コロナ禍を乗り越え、よりよい環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。

となみ野高校PTA会長

神谷 洋子

教育長陳情

令和2年11月5日、堀井鉄也会長が、県庁で伍嶋二美男教育長に「令和3年度教育関係予算措置その他に関する陳情書」を手渡し、次の9項目に関して陳情しました。

- 1 令和3年度北信越地区高P連研 究大会への助成について
- 2 県高等学校PTA指導者研修事業の振興について
- 3 時代の進展に即応した教育改革への支援について
- 4 生徒生活指導の充実について
- 5 時代の進展に即応した学校づくりの推進について



- 6 学校運営費や旅費等の確保等について
- 7 定時制・通信制教育の振興について
- 8 特別支援教育の振興と教育環境の整備充実について
- 9 高等教育機関の拡充について

伍嶋教育長からは、「要望のそれぞれの項目が大切な項目なので、教育委員会としても、できるだけ予算を確保して生徒のよりよい教育環境の充実のために取り組んでいきたい。」との回答をいただきました。

知事要望

令和3年1月18日、堀井鉄也会長と5名の副会長が県庁に新田八朗知事を訪ね、次の12項目について、令和3年度教育関係予算の充実を要望しました。

- 1 時代の進展に即応した学校づくりの推進
 - (1) 県立学校における学習環境充実への支援
 - (2) 空調設備等の整備
 - (3) ICT教育充実への支援
 - (4) 魅力ある学校づくり推進への支援
 - (5) 未来を拓く人材育成への支援
 - (6) 教育制度改革等の対応への支援

2 特別支援教育の充実

- (1) 高等学校における特別支援教育の推進
- (2) 特別支援学校高等部等における職業教育の充実

3 高校生指導等の充実

- (1) 不登校やいじめ等への対応
- (2) 携帯端末やSNS等に係る諸問題への対応

4 教員の資質向上

- (1) 優れた教員確保への対策
- (2) 教員研修等の充実・支援

これに対して、新田知事からは、「新高校の施設整備、特別教室の空調整備の計画的な設置、ICT教育の充実、外部人材を活用しての支援などを今後とも進めていきたい。皆さんからいただいた要望について、今後の県の政策に反映させていく。」との回答をいただきました。



高岡商業高校PTA 優良PTA文部科学大臣表彰受賞



高岡商業高校PTAが、令和2年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞されました。授賞式は例年8月に開催される全国高等学校PTA連合会大会で行われていましたが、今年度の島根大会が中止となったため、令和2年12月21日に県庁で表彰伝達式が執り行われました。

高岡商業高校PTAは、模範株式会社「りゅうりゅう」とPTAとが連携して近隣中学校や地域の行事に年間を通して出店していることや、ネットトラブルの防止など、生徒指導に関する意識を高める取組みを推進していることなどが評価されました。

余西朗PTA会長は、「私たちがこのような喜びを得ることができましたのは、歴代PTA会長をはじめ役員や関係者の方々のご指導とよき同僚に恵まれたおかげです。心から感謝申し上げます」と述べられました。

編集後記

会報第124号をお届けします。「共学共育」に寄稿していただいたPTA会長各位に御礼を申し上げます。今年度はコロナ禍により、多くの行事が中止となったため、活動の報告ができませんでした。早くこのような状況が終息し、会員の皆様との交流ができるよう願っております。(事務局長 神田 聡)